

整理 No.		2016-14		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所		海外関連会社 液系生産工場			
災害発生日時		2015年11月17日(火)		11時30分頃 天気 (晴れ)	
災害区分		不休災害 <u>休業災害</u> (休業見込み日数:10日)			
被災者	部門	<u>生産</u> ・技術・営業・管理(事務)		雇用形態	<u>正社員</u> ・派遣・契約・その他()
	年齢	25歳	性別: <u>男</u> 女	勤続年数	0年11か月 経験年数 0年11ヶ月
	傷病名	病名 (骨折)			
	傷病部位	部位 (左手中指先端)			
災害発生状況	①液系工場2階で、ドラム缶を手で転がして移動させていた		状況概略(写真orイラスト)		
	②ドラム缶を、ドラム置場へ戻す際にドラム缶の奥側を持ったまま、手を離さなかった				
	③元々、置いてあったドラム缶と移動させたドラム缶に指先を挟んでしまった				
	④直ぐに、病院に連れて行き、診察した所、骨折であった				
災害の型 ^{※1)} 5,はさまれ、巻き込まれ、 9.動作の反動、無理な動作		作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()			
起因物: ドラム缶		特記事項:			
原因	1, 人的要因 (man) : ドラム缶を、転がして移動させる事に慣れて、油断していた				
	2, 物に関する要因 (machine) : ドラムポーターがあったが、使っていなかった				
	3, 環境要因 (media) : 半端品のドラム缶が、工場内に多すぎて、ドラムポーターが入らなかった				
	4, 管理的要因 (manegement) : 使用頻度の低い原料ドラムを、倉庫へ戻す管理が出来ていなかった				
対策	1, 半端品ドラム缶の本数を減らす (使用頻度で、置場を見直す)				
	2, ドラムポーターを使って移動させる 3, ドラムを下ろした位置を微調整する際は、手前から押すように指導 4, 半端品のドラム缶は反対側に跳ねる事がある事を教育				
対策分類 ^{※2)} : 1-2, 2-4					
備考					